

東日本大震災・支援ニュース

NO 2

命をつなぐリレー、スタート

3月16日(水)雪の舞う冬空の中を、大阪から救援物資が届きました。「高速道路がチェーン規制で、トラックで行くはずでしたが、チェーンがなく自動車を変えます。休みの職員も動員して2台で運びます。」と、連絡があり、荷物満載の車が無事に到着しました。「関西の想いを荷物に載せて、金沢に託してきました。」と老福連の事務局にメールが届いたそうです。老福連の全国の皆さんの想いが集約されたメールですよね。生命をつなぐリレーの開始です。



金沢から新潟に向けて出発！

3月17日早朝、雪がうっすらと積もり、はらはら舞う真冬のような寒さの中、救援物資を載せた2台が新潟に向かって出発しました！朝6時になんぶやすらぎホームから、トラック・ワゴン車で、地域の方・職員の家族・職員で出発。地域の方も見送りに来てくださいました。報道機関も3社取材にきました。



北陸朝日放送は、昼のニュースで流す予定だそうです。

中日新聞・北国新聞も取材にきました。運転手さんも車もボランティア

生命のリレーも職員だけではつないでいきません。南友の会、なんぶやすらぎの会、地域の方に声をかけると、「何とか協力するよ。」と快諾。出入りの業者さんから提供していただいた物品がとても多く、1台

で載らないことがわかり、急遽2台に増便。「急なんです、明日運転手をお願いします。」というお願いにも、「わかった。」と引き受けてもらえました。みなさんに本当に支えられていると実感します。

(善意の心が広がる)

在宅マッサージの若いお兄さんが、玄関から引き返して「少しですが。」ひなたぼっこを利用された新婦人の絵手紙サークルの皆さんも「あちこちで募金をしているので、少ない金額で悪いけれど。」と、面会のご家族も「やすらぎさんで募金をしとるの？それならわし入れるわ。」と次々と暖かい想いが寄せられています。